

教育研究業績書

所属	職名	氏名
こども教育学部	准教授	森 みゆき

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
(2)作成した教科書・教材・参考書		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 ・平成22年度熊本大学教育学部附属中学校研究発表会・分科会(音楽)の助言者 ・熊本県小学校教育研究会音楽部会、夏期音楽講習会の講師	2010年9月18日 2011年8月18日	
(4)その他教育活動上特記すべき事項		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
1.『映画・社会・教育論集』	共著	平成20年2月	熊本大学大学院文学研究科(地域科学専攻)	田中雄次(編者)・板倉史明・佐本浩一郎・矢崎千華・江口英季・森みゆき	pp.83-106
(論文)					
1. 現代ドイツにおけるピアノ学習初期の子供のための指導法についての一考察	共著	平成18年11月	熊本大学教育学部紀要 55	中山孝史・森みゆき	pp.141-152
2. 明治期の唱歌における子守唄	共著	平成22年12月	熊本大学教育学部紀要、人文科学 59	山崎浩隆・中川(森)みゆき・野口莉菜	pp.213-237
3. 明治期の唱歌における数え歌	共著	平成23年12月	熊本大学教育学部紀要、人文科学 60	山崎浩隆・中川(森)みゆき	pp.185-192
4. ピアノ演奏における物理的側面	共著	平成23年12月	熊本大学教育学部紀要、人文科学 60	山崎浩隆・中川(森)みゆき・上松英介	pp.193-200
5. 「バイエルピアノ教則本」における指の運動に関する一考察1	共著	平成24年2月	熊本大学教育実践研究 29	山崎浩隆・中川(森)みゆき	pp.93-101
6. 明治期における女義の評価の変遷	単著	平成24年3月	楽劇学 19		pp.31-53
7. 「誰にでもできる」日本音楽の授業提案ー雅楽《越天楽》と《越天楽今様》のために	単著	平成24年10月	平成音楽大学紀要 12(1)		pp.1-18
8. 明治期の東京音楽学校における演奏会のレパートリー考察	共著	平成24年12月	熊本大学教育学部紀要、人文科学 61	山崎浩隆・中川(森)みゆき	pp.211-217
9. 「誰にでもできる」日本音楽の授業提案ー黒御簾音楽ー	単著	平成25年3月	平成音楽大学紀要 12(2)		pp.1-22

10. 「女義太夫」と「娘義太夫」という二つの呼称についてー明治期における使用例の検証ー	単著	平成25年10月	平成音楽大学紀要 13(1)		pp.1-18
11. 熊本県下に現存する古いピアノ・オルガン調査: 明治・大正・昭和	共著	平成26年3月	熊本大学教育実践研究 31		pp.83-101
(その他: 学会発表)					
1. 明治初期の女義太夫	単独	平成19年12月	全九州大学音楽学会		
2. 明治期熊本における女義太夫の公演についての一考察	単独	平成20年12月	全九州大学音楽学会		
3. 日本音楽の授業を考える	単独	平成22年12月	全九州大学音楽学会		
4. “目からうろこ”の日本音楽授業	単独	平成23年8月	日本音楽教育実践学会		
(その他: 演奏会等)					
1. ミュージカル「トラップ一家の物語ーサウンド・オブ・ミュージックのもとになったお話ー」	単独	平成17年3月	会場: 宇城市小川町総合文化ホール らぼーと		
2. 「音楽之声 中日双方の子将进行互动交流演出 交流文化」(中日の子ども達の公演と文化	共同	平成17年3月	会場: 中国上海市烏南幼稚園		
3. ミュージカル「音楽之声 特拉普一家的故事」	共同	平成17年3月	会場: 中国上海市位育中学 ホール		
4. ミュージカル「トラップ一家の物語ーサウンド・オブ・ミュージックのもとになったお話ー」	単独	平成17年10月	会場: 熊本市鶴屋東館7階 鶴屋ホール		
5. 「森みゆきの世界の子守唄コンサート」	単独	平成18年2月	会場: 子育て応援団すこやか2006(グランメッセ熊本内)		
6. 「美しき日本の四季 こどものあそびとあそびうた」	単独	平成19年12月	会場: 熊本市鶴屋東館7階 鶴屋ホール		
7. 「レクチャーコンサート 100年前の音楽ー日本編ー」	共同	平成24年10月	会場: 熊本市くまもと森都心プラザホール		
Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					